



発行所  
山形新聞社

山形市旅籠町2-5-12  
電話 代表023(622)5271

Copyright (c) 2009  
Yamagata Shimbun

2009年  
12月2日  
〈水曜日〉

速電  
報版子

購読申し込み  
(9-17時)

0120-81-8040

やまがた  
ニュースオンライン

<http://yamagata-np.jp>

Mbi | eやましん

<http://yamagata-np.jp/k/>



詳しくは山形新聞を  
ご覧ください。

# 平山郁夫さん死去



平山郁夫さん

## 日本画家、文化勲章を受章

### シルクロードや仏教主題

79歳

シルクロードや仏教を主題とした雄大な作品で知られ、世界の文化財保護にも尽力した日本画家で文化勲章受章者、前東京芸大の平山郁夫（ひらやま・いくお）さんが2日午後0時38分、脳梗塞（こうそく）のため東京都内の病院で死去した。79歳。広島県出身。葬儀・告別式の日取り、喪主は未定。

15歳の時、広島で被爆。東京美術学校（現東京芸大）に入学、前田青邨らの指導を受けた。1953年「家路」で院展初入選。59年、被爆の後遺症に苦しむ中で完成させた「仏教伝来」が転機に。「入涅槃（ねはん）幻想」

など仏教をめぐる連作の礎になった。66年、東京芸大の遺跡調査団でトルコを訪問。以来、毎年のようにシルクロードを取材し、悠久の歴史を思わせる独自の風景や遺跡を描いた。法隆寺や高松塚古墳の壁画など、内外の文化財の保存修復に参加。国連教育科学文化機関（ユネスコ）親善大使として敦煌や高句麗壁画、バミヤンの遺跡といった文化遺産の保存に尽力した。

文化外交に力を注ぎ、平和と人間性を取り戻そうと訴える「文化財赤字」を提唱。92年から日中友好協会会長。98年文化勲章受章。96年から日本美術院理事長。東京芸大を2度務めた。海外からの評価も高く、96年にフランスからレジオン・ドヌール勲章を、2001年にフィリピンのマグサイサイ賞などを受けた。

平山郁夫さん主な業績  
平山郁夫さんはシルクロードや仏教を主題に創作を重ねる一方、世界の文化財保護にも尽力した。「家路」で1953年、院展初入選。59年、被爆の後遺症の中で描いた「仏教伝来」以降、「入涅槃（ねはん）幻想」など仏教をめぐる連作を創作した。2000年末には奈良・薬師寺に「大唐西域壁画」を奉納。「平成洛中洛外図」にも取り組んだ。法隆寺や高松塚古墳の壁画など、内外の文化財の保存修復に参加。敦煌や高句麗壁画、バミヤンの遺跡といった文化遺産の保存に尽力した。

大きな星を失った  
宮田亮平東京芸大大学長の話 学生のときからずっと見上げてきた大きな星を失った。2度にわたって学長をお務めいただき、2度目に副学長としてお仕えした。大学の独立行政法人化にあたり「業績」の評価が難しい芸大で大変な苦労をなされた。先生の経歴、見識がなければできなかった仕事だ。

大きな星を失った  
宮田亮平東京芸大大学長の話 学生のときからずっと見上げてきた大きな星を失った。2度にわたって学長をお務めいただき、2度目に副学長としてお仕えした。大学の独立行政法人化にあたり「業績」の評価が難しい芸大で大変な苦労をなされた。先生の経歴、見識がなければできなかった仕事だ。